

ハマナデシコ

Dianthus japonicus Thunb.

ナデシコ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内の海岸に生育するが、個体数がごく少なく、貴重である。(現況:RO)

形態

茎は叢生し、斜めに立ち上がる。葉は対生し、短い柄がある。葉身は狭卵形または長楕円形で、葉質はやや厚く、無毛、光沢がある。花卉のへりに歯牙があり、細かく裂けない。

国内分布

本州、四国、九州、南西諸島に分布する。

県内分布

舳倉島・七ツ島植物小区系、口能登区、中能登区、加賀中央区、南加賀区に分布するが、奥能登の内浦区では分布が見られない。

生態など

高さ15~50cmになる中形多年生草本で、根出葉はロゼット状である。この分類群単独で群生して紅紫色の花を咲かせているようすは美しい。開花期は7~9月。花の色は紅紫色である。蒴果は円筒形で、先は4裂する。種子は黒色である。

生育環境

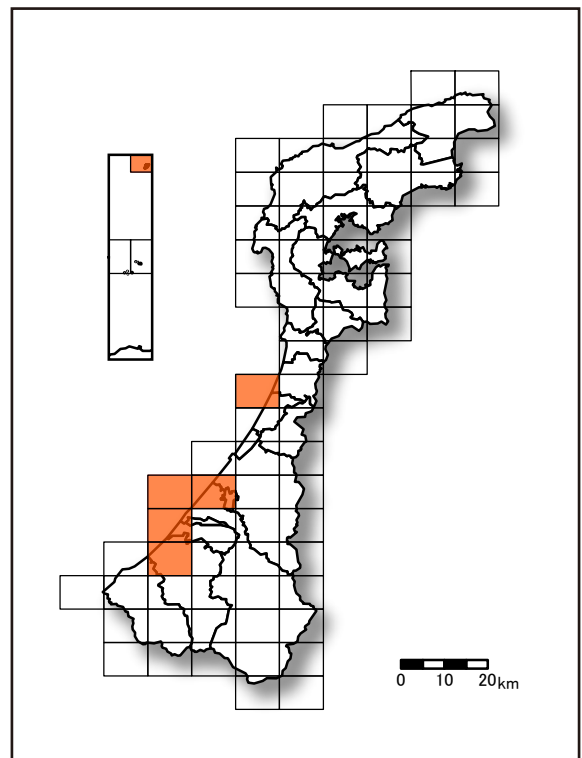
日当たりがよく、潮風を受けるような磯浜、礫地、砂浜に生育する。

危険要因

海岸開発、園芸採取。



林 二良・2008年7月13日・口能登



県内の分布